

令和４年度第２回沖縄県公立大学法人沖縄県立芸術大学評価委員会 議事概要

１ 開催日時

令和４年９月２日（金）１４：００～１６：００

２ 開催場所

公立大学法人沖縄県立芸術大学当蔵キャンパス管理棟２階第１・２会議室

３ 出席者等

（出席）

石田 むつみ 委員（日本公認会計士協会会員）

金城 真次 委員（公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団芸術監督）

砂川 昌範 委員（公立大学法人名桜大学学長）

西村 貞雄 委員（琉球大学名誉教授）

福地 敬 委員（一般財団法人沖縄美ら島財団総合管理部長）

以上 委員５名中５名出席

（事務局）

沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課

４ 会議次第

（１） 開会

（２） あいさつ

（３） 審議

【議題】 令和３年度公立大学法人沖縄県立芸術大学業務実績評価について

（４） 閉会

5 議事の要旨

■定足数の確認

委員 5 人中 5 人出席。沖縄県公立大学法人評価委員会条例第 6 条第 2 項による定足数を満たしている旨報告。

■会議の公開・非公開

委員長代理（砂川委員）から、沖縄県公立大学法人沖縄県立芸術大学評価委員会運営要綱第 3 条の規定に基づき、公開することにより公正かつ円滑な審議等が著しく阻害され会議の目的が達成できなくなると認められるため、会議を非公開とすることとし、出席委員全員の賛同を得た。

【審議事項について】

- 令和 3 年度公立大学法人沖縄県立芸術大学業務実績に関する評価結果の案について、公立大学法人沖縄県立芸術大学から意見を聴取し、質疑応答を行った。

○法人からのコメント（要約）

- ・評価結果に関しては、大学の自己評価と合致しており特段意見はない。
- ・研究水準の向上を続けたい限り、受験生を増やしていくことはできないため、今後とも、事業のスクラップアンドビルドや外部資金の獲得などに取り組み、研究費の確保に努めていく。
- ・HP アクセス数、SNS の新規登録者数はかなりの数を確保できた。遠隔授業のシステムの充実により、動画配信などが行えるようになり、広報活動が充実した。
- ・大学院博士課程については、3 年間で卒業することが難しい現状がある。
- ・マーケットリサーチについては、コロナ禍で思うようにできなかったが、学生が実践的に学ぶ場として、観光客層に向けた販売会・展示会などを積極的に展開していきたい。

○委員意見

- ・大学として力を入れている点などを定量的なデータをもとに対外的にアピールしていくことが重要である。学生 1 人 1 人にもそのような手法を身につけてもらいたい。

- 質疑応答の後、公立大学法人沖縄県立芸術大学の関係者は退出し、全体評価の審議に入った。事務局より項目別評価案の前回からの修正内容及び全体評価案について説明を行ったところ、以下の意見が出された。

- 中期目標の達成に向け、評価できる点の記載について、「取組を強化している。」ことや「努めている。」ことを評価しているのではなく、その結果として成果を

げていることを評価しているので、評価した点を明確に記載すべきである。

○中期目標の達成に向け、評価できる点の記載について、当初の評価案には記載がなかったが「若手教員等向け研修会を開催するなど外部研究資金の獲得に向けた取組を強化している点」については、是非記載してもらいたい。

○中期目標の達成に向けた課題は、記載なしで良いのか。課題は何もないというように見えてしまうことになるが。

→芸大の方では PDCA を回しているので、個々の課題は存在し、改善に向け取り組んでいる。PDCA サイクルを続けていくことが重要である。

→特にマーケットリサーチの部分については、芸大においても重要なアウトリーチであると思うので、コロナの収束後に向けて着実に取り組んでももらいたいという要望として記載するのが良いのでは。

【閉会】